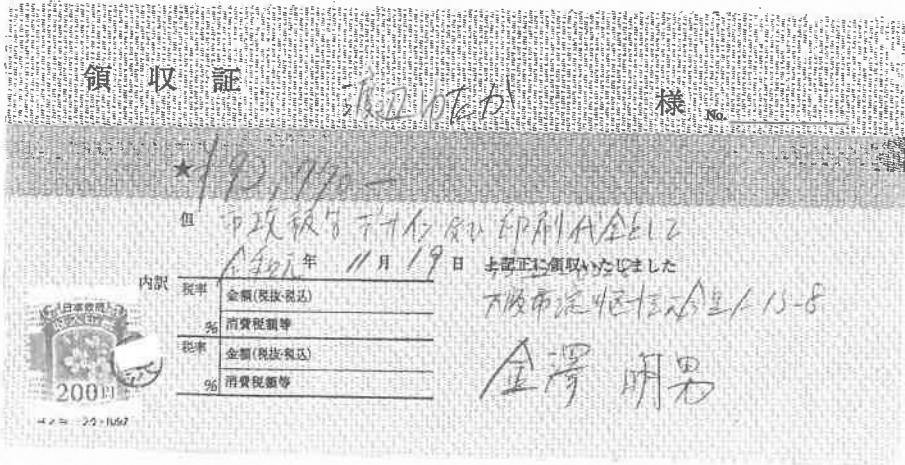


領収書等貼付用紙

年度分

整理番号 3



- 経費の範囲
- 調査研究費
 - 研修費
 - 広報費
 - 広聴費
 - 要請・陳情活動費
 - 会議費
 - 資料作成費
 - 資料購入費
 - 通信交通費
 - 人件費
 - 事務所費

- 使途項目
- 交通費
 - 宿泊費
 - 自動車借上料
 - 燃料費
 - 有料道路通行料
 - 駐車料金
 - 通信運搬費
 - 土産代
 - 会場借上料
 - 機械器具等借上料
 - 委託料
 - 講師謝礼
 - 飲食費
 - 出席者負担金
 - 会費
 - 印刷製本費
 - 翻訳料
 - 消耗品費
 - 新聞雑誌購読料
 - 書籍購入費
 - 資料購入費
 - 固定電話料金
 - 携帯電話料金
 - インターネット料金
 - 貸金
 - 賃借料
 - 維持管理費
 - 備品購入費
 - その他の費用

四條畷市議会議員(税理士)

渡辺 ゆたか



市 政

〒575-0003

大阪府四條畷市岡山東1-3-9-502

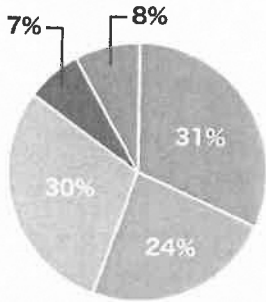
報 告

E-mail: info@watanabe-yutaka.com

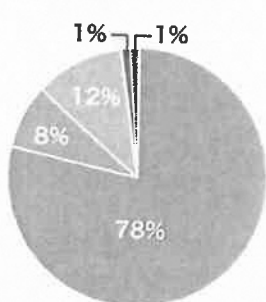
URL: http://www.watanabe-yutaka.com

○ 総合センター(図書館)の移転計画について (2019年9月議会)

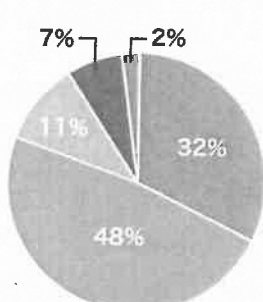
2019年9月に総合センターの最適地についてアンケートをとらせて頂きました。(回答人数360人)



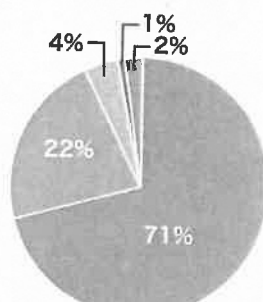
四條畷駅東側



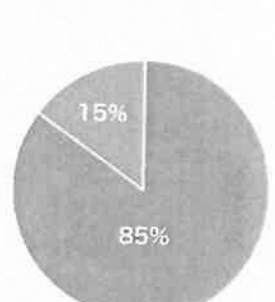
忍ヶ丘駅東側



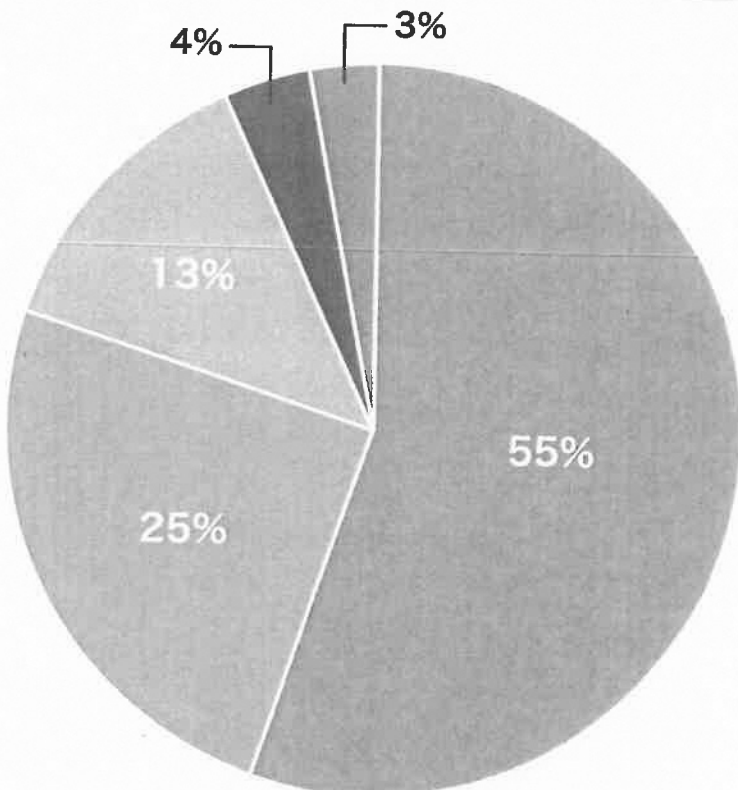
四條畷駅西側



忍ヶ丘駅西側



生駒駅



全 体

- 総合センター(今の場所がいい)
- 市役所に移転
- 南中に移転
- どこでも
- 分からない

アンケート結果はとった場所(上の図)によって一定の偏りがありますが、全体(左の図)で見ると、今の場所がいいという人が全体55%に達しています。

これは、今の総合センターの場所が比較的市の中心部にあること、忍ヶ丘駅から約750mという利便性、場所が分かりやすく、駅から平坦であること等が考えられます。



公共施設の更新の問題は全国共通の課題です。そこで、東京都町田市に視察に行ってきました。

町田市のアンケートでは「公共施設の総面積を減らしていく必要がある」「1つの建物に複数の機能を組み合わせることにより、1カ所で多くの目的を達成出来るようにする必要がある」がいずれも90%を超えています。

四條畷市においても、今後の人口減少、少子高齢化という状況を考えると、公共施設の総面積を減らし、複数の建物を集約することにより、1カ所で多くの目的を達成出来るようにする必要があると私自身も思います。

また、施設を集約をするなら「市全体にとって出来るだけ利便性が高い場所」にすることが重要です。

河内長野市へ視察 → 大きな発見がありました (2019年10月委員会)

河内長野市の文化施設キックスは四條畷市の総合センターより大きく感じました。実際、延床面積を見てみると、河内長野市の方が四條畷市より広がっています。

しかし、敷地面積は四條畷市の総合センターの方が広いのです。

つまり、四條畷市の総合センターの面積は河内長野市の面積よりも広いにも関わらず、建ぺい率及び容積率を最大限使えていないこととなります。

特に容積率は57%(最大200%まで可)です。今の総合センターの敷地を最大限活用すれば現状の3倍以上、最大17,338㎡の延床面積を確保することが出来ます。

さらに、駐車場を地下にすれば、162台程の駐車場スペースを確保することが出来るし、このスペースは災害時にも活用出来る空間になります。

	河内長野市・キックス	四條畷市・市民総合センター
敷地面積	7,324㎡	8,672㎡
建築面積	3,197㎡	2,322㎡
建ぺい率	43%	26%
延床面積	16,374㎡	5,011㎡
容積率	223% ※駐車場合	57%
利用可能最大延床面積	—	17,338㎡
駐車場台数	162台	77台

 **総合センターの容積率を最大限活用し、複数の施設を集約すべき!!**